

事務組織の見直しについて

1 組織見直しの趣旨

本学の事務組織が抱える課題を解決するとともに、より円滑で効率的な業務運営を可能にするため、事務組織体制の強化を図る。

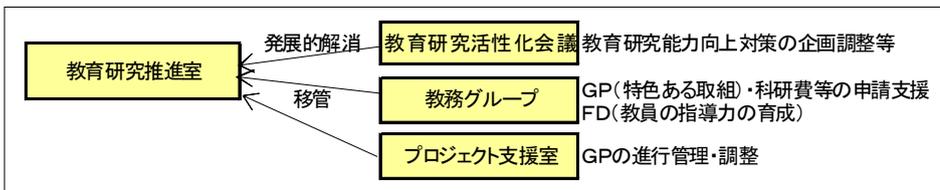
〔主な課題〕

- ①多様化・高度化する高等教育のニーズに対応するため、教育企画能力の向上、研究の活性化を図る必要があること。
- ②学生の視点、立場に立ったサービスの提供をより推進する必要があること。
- ③業務の標準化が進む中、法人と大学にそれぞれ管理部門があることから、役割分担の不明瞭さや業務の重複等、非効率な部分が生じており、その効率化を図る必要があること。

2 主な見直し内容

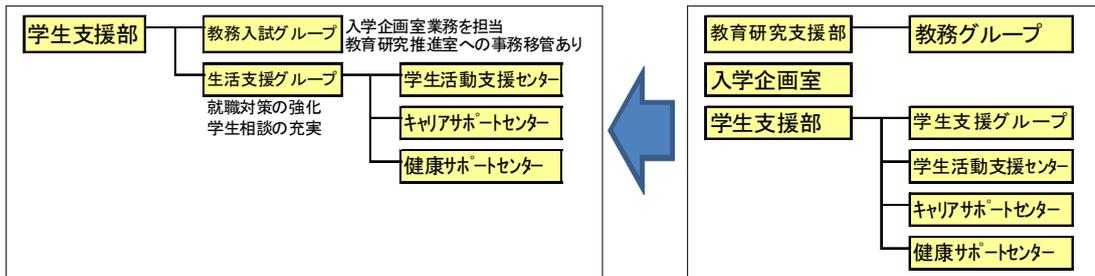
(1) 教育研究推進室の新設

- ① 本学における教育の質の保証と向上を図るとともに、教育研究の企画立案能力を高めるため、学長直属の組織として教育研究推進室を新設。
- ② 所要の事務職員を配置し、教員と一体的な取組を実施。



(2) 学生支援体制の強化

- ① 学生の視点、立場に立ったワンストップサービスを提供するため、教育研究支援部と学生支援部を統合（新たな名称は「学生支援部」）。
- ② 3つのセンターを生活支援グループの下部組織とし、効率的な業務運営を実施。



(3) 管理部門の一元化・再編

- ① より効率的・効果的な業務運営を行うため、法人部門、大学部門の区分を廃止し、2部4グループの管理部門に再編（審議会等の所管も分散化）。
- ② 大学全体の企画調整業務を処理する経営企画室の機能は、企画グループが引き継ぎ、理事長（学長）のリーダーシップを確保。

